

図表 3: 実施体制

●保険年金課との連携体制

市	福祉保健部	健康推進課	各種保健事業の情報共有・内容の関する助言
		福祉政策課	情報共有、情報提供、庁内連携
		高齢障がい課	
		福祉相談課	
	企画財政部	情報政策課	庁内連携
	国・東京都	保険者努力支援制度	
	東京都国民健康保険団体連合会	KDBシステム利用、保健事業支援・評価委員会	
	市内医療機関	各種保健事業への協力	
	狛江市医師会	各種保健事業の情報共有・内容の関する助言	
	狛江市薬剤師会	各種保健事業の情報共有・内容の関する助言	
	委託業者	各種保健事業業務委託	
被保険者	各種保健事業の対象者への通知など		

●被保険者との連携体制

保険年金課	各種通知など
委託事業者	保健指導・各種通知など
市内医療機関	特定健診、検査実施など

2 狛江市の現状

2.1 概況

本市は、東京都下の多摩丘陵の東南端多摩川沿岸に位置する都市です。市の南を流れる多摩川の川底からハマグリが群れが化石となって発見されたことから、昔は当市一円に潮が差し込んだ多摩川の河口であったことが証明されています。

武蔵野の自然と交通の便利さの両方を併せ持つ本市は、その暮らしやすさから東京のベッドタウンとして人口が増加傾向にあるものの、少子高齢化のために近年ピークを迎えることが想定されます。高齢者人口とともに高齢化率も年々上がり、現在（令和5年8月1日時点）はおおよそ4人に1人は65歳以上となっています。

2.2 狛江市及び国保被保険者の特性

2.2.1 狛江市の人口・将来人口推計・高齢化率

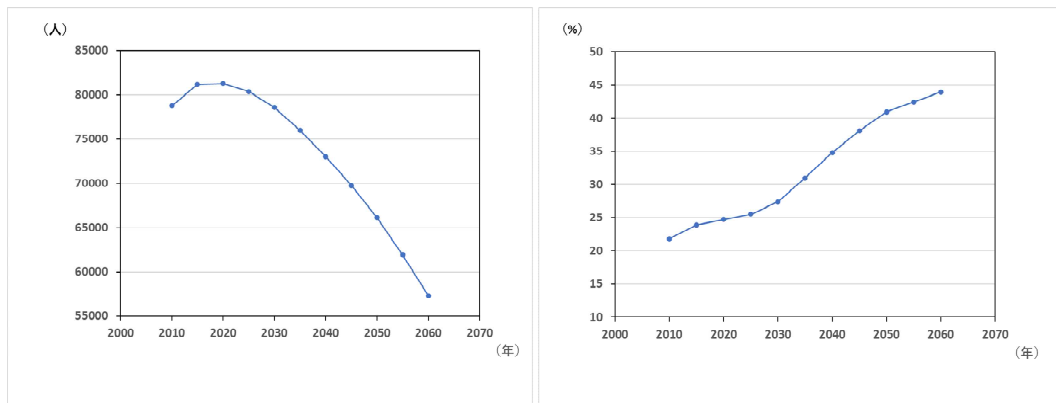
本市の人口、65歳以上の人口の割合を示す高齢化率は以下のようになっています。
（令和5年8月1日時点）

人口 全体：82,584人
男性：39,826人（48.22%）

女性：42,758人 (51.78%)
 高齢化率 全体：24.28%
 男性：21.55%
 女性：26.81%

次に、本市の将来人口推計及び高齢化率推計を以下の図表4に示します。なお、ここでは出生率は定めた値で一定としています。人口は今後減少傾向となることが想定されます。その間、高齢者は増え続け、高齢化率は2060年には43.9%になることが推計されます。

図表4: (左) 本市の将来人口推計¹ (右) 本市の高齢化率推計¹



2.2.2 性・年齢階層別被保険者数

本市国民健康保険(以下、国保という。)被保険者数は令和5年8月1日時点で15,273人、市の人口全体の内18.49%を占めています。また、65歳以上74歳以下の被保険者数は、5,347人で35.00%となっています。

図表5に示した本市国保被保険者の性・年齢階層別構成割合(令和4年度)をみると、65歳以上74歳以下の割合は東京都よりも高くなっています。

本市の国保被保険者数及び平均年齢(令和5年8月1日時点)

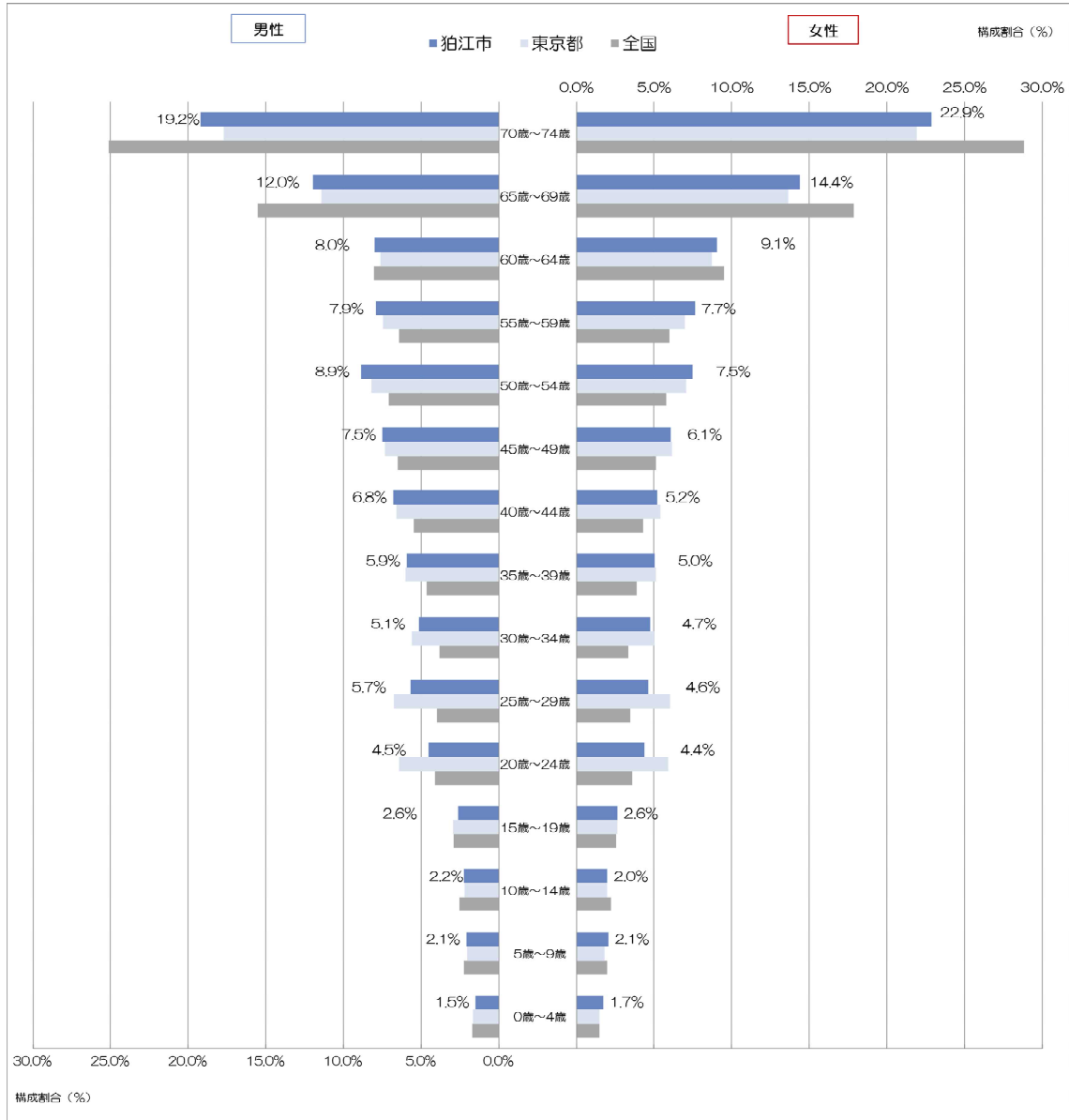
国保被保険者数 全体：15,273人
 男性：7,437人 (48.69%)
 女性：7,836人 (51.31%)
 65歳以上74歳以下の割合 全体：35.00%

¹ 引用：狛江市人口ビジョン(平成28年2月策定)

男性：32.07%

女性：37.80%

図表 5: 本市国保被保険者の性・年齢階層別構成割合²



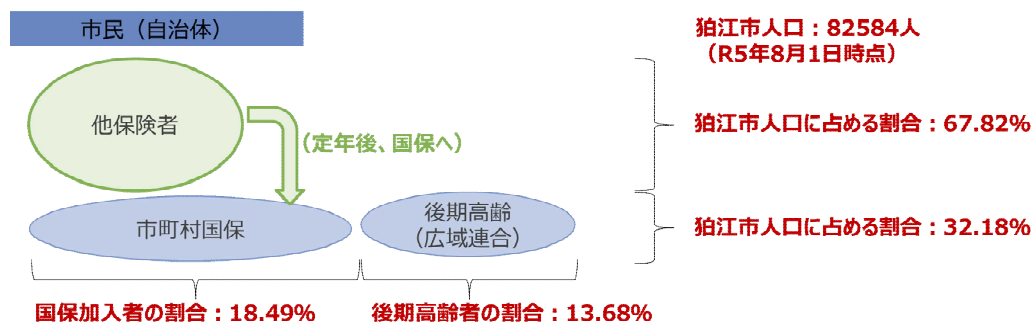
2.2.3 国保加入率及び後期高齢者医療制度、他保険者加入率との割合 (令和

² 国保データベース (KDB) システムより作成。令和4年度のデータを用いて集計した。

5年8月1日時点)

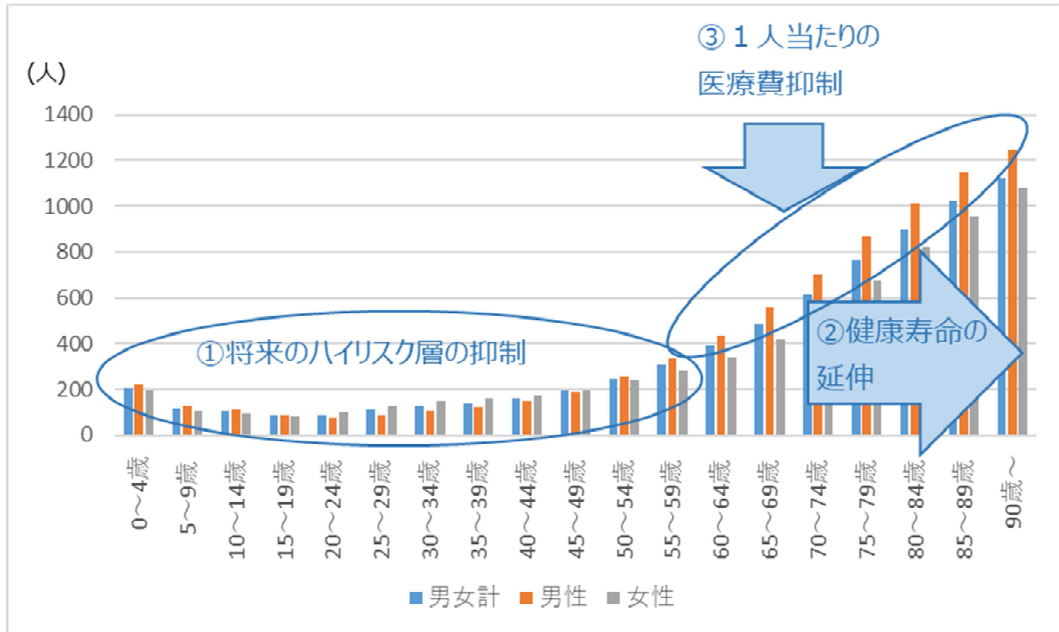
本市の人口を保険者別にみると図表6のようになります。これより、本市人口の約18.49%が国保加入者であり、本計画の対象となっています。また、後期高齢を除く健康保険組合等に加入している方々の割合は67.82%となっています。これらの方々が毎年のように60歳以降の定年退職等により、国民健康保険に異動してくる構造となるため、保険者としてだけでなく、市民全体を対象に視野を広げた健康増進事業の推進が求められております。

図表 6: 本市の人口と保険者の構造



さらに少子高齢化社会において、健康寿命の延伸や医療費抑制といった大きな課題を克服するにあたり、市民全体の医療費や疾病傾向等の分析を実施し、本計画期間においてどのような対策を講じるべきか検討することがより重要になってきます (図表 7)。

図表 7: これからのサービスの目指す姿 (医療費視点イメージ) ³



次に、国保加入者のうち、令和4年度における60歳以上で国保に異動されてきた方々と60歳以前から国保に加入されていた方々の年齢別分布を図表8に示します。

雇用機会確保の観点から定年退職年齢の引き上げや年金支給開始年齢の引き上げもあり、60歳より年齢が高くなると他保険者からの異動者の割合が高くなっていることが分かります。65歳を超えるとその割合は、同年齢比で40%以上となっています。

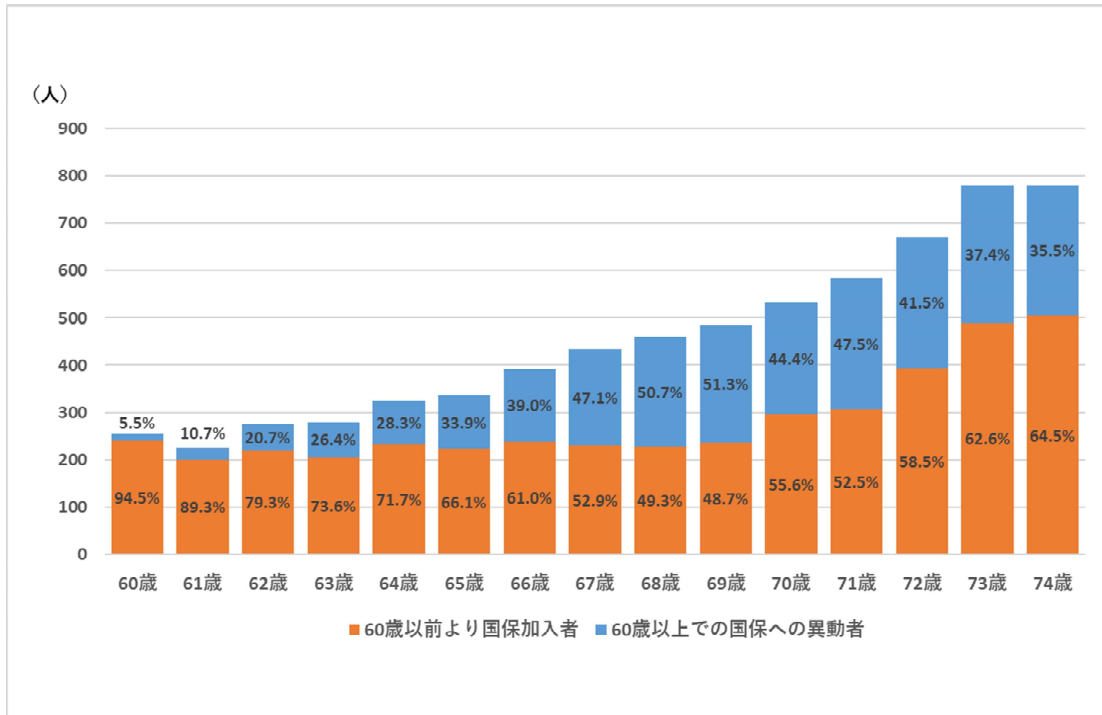
又、毎年新規に他保険者からの異動者が発生することから、国民健康保険における保健事業の対象外ではあるものの、将来の加入者に向けた健康増進事業という観点で俯瞰した事業の在り方が重要となってきます。

次に、図表8の方々の医療費とその占める割合について図表9に示します。他保険者からの異動者の方々の人数と医療費は年々上昇傾向にあり、令和4年度においては医療費の1/3を他保険者から異動されてきた方々で占めていることが分かります。

60歳以上で異動されている方々の多くは、生活習慣等のライフサイクルが定着した状態であることが想定されます。そこで、将来のハイリスク層を抑制するためには、国保被保険者のみに焦点をあてず、市全体を俯瞰的にとらえた未病・予防対策が重要となります。

³ 厚生労働省 令和2年度国民医療費の概況のデータをもとにグラフ化

図表 8: 60歳以前より国保加入者と60歳以上での国保への異動者の年齢別分布⁴



図表 9: 60～74歳の国保加入者数及び総医療費（以前より国保加入者と異動者別）

	人数 (人)		医療費 (円)		
	以前より国保加入者	異動者	以前より国保加入者	異動者	総額
2018年度	4,826 (72.4%)	1,837 (27.6%)	1,899,970,030 (73.8%)	675,612,080 (26.2%)	2,575,582,110
2019年度	4,662 (69.5%)	2,050 (30.5%)	1,933,255,310 (71.1%)	786,234,460 (28.9%)	2,719,489,770
2020年度	4,617 (67.0%)	2,270 (33.0%)	1,824,095,730 (69.1%)	814,715,130 (30.9%)	2,638,810,860
2021年度	4,469 (64.4%)	2,473 (35.6%)	1,938,022,910 (64.6%)	1,059,879,100 (35.4%)	2,997,902,010
2022年度	4,241 (62.2%)	2,577 (37.8%)	1,777,100,060 (62.8%)	1,051,223,320 (37.2%)	2,828,323,380

2.2.4 日常生活圏域の特性（令和5年8月1日時点）

本市は、以下の3つの日常生活圏域を設定しております。

- ・こまえ正吉苑エリア
- ・あいとぴあエリア
- ・こまえ苑エリア

日常生活圏域別の特性を図表 10 に示します。どのエリアも高齢化率が高くなっていますが、こまえ正吉苑は約 27%と他の2つのエリアと比較して5%程度高い値を示しており、より高齢化が進んでいる可能性が考えられます。同様に、こまえ正吉苑は国保被保険者における65歳以上74歳以下の割合が高くなっています。また、こまえ正吉苑エ

⁴ 国保データベース (KDB) システムより作成。

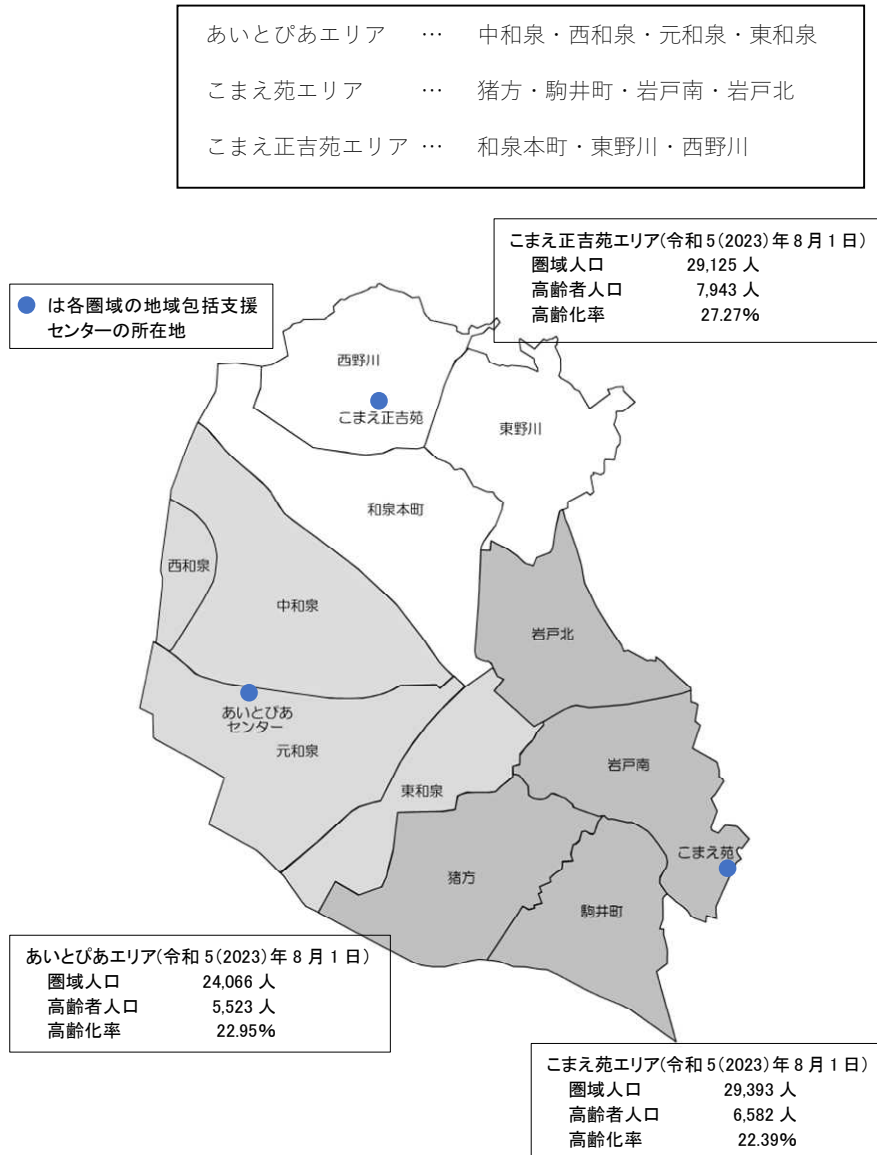
リアは5%程度高齢化率が高くなっているにもかかわらず、国保被保険者の割合は他エリアと大差なく、後期高齢者医療制度に異動している方が多いことがわかります。

日常生活圏域別の特性をマップに示したものを図表11、図表12に示します。

図表 10: 日常生活圏域別の特性

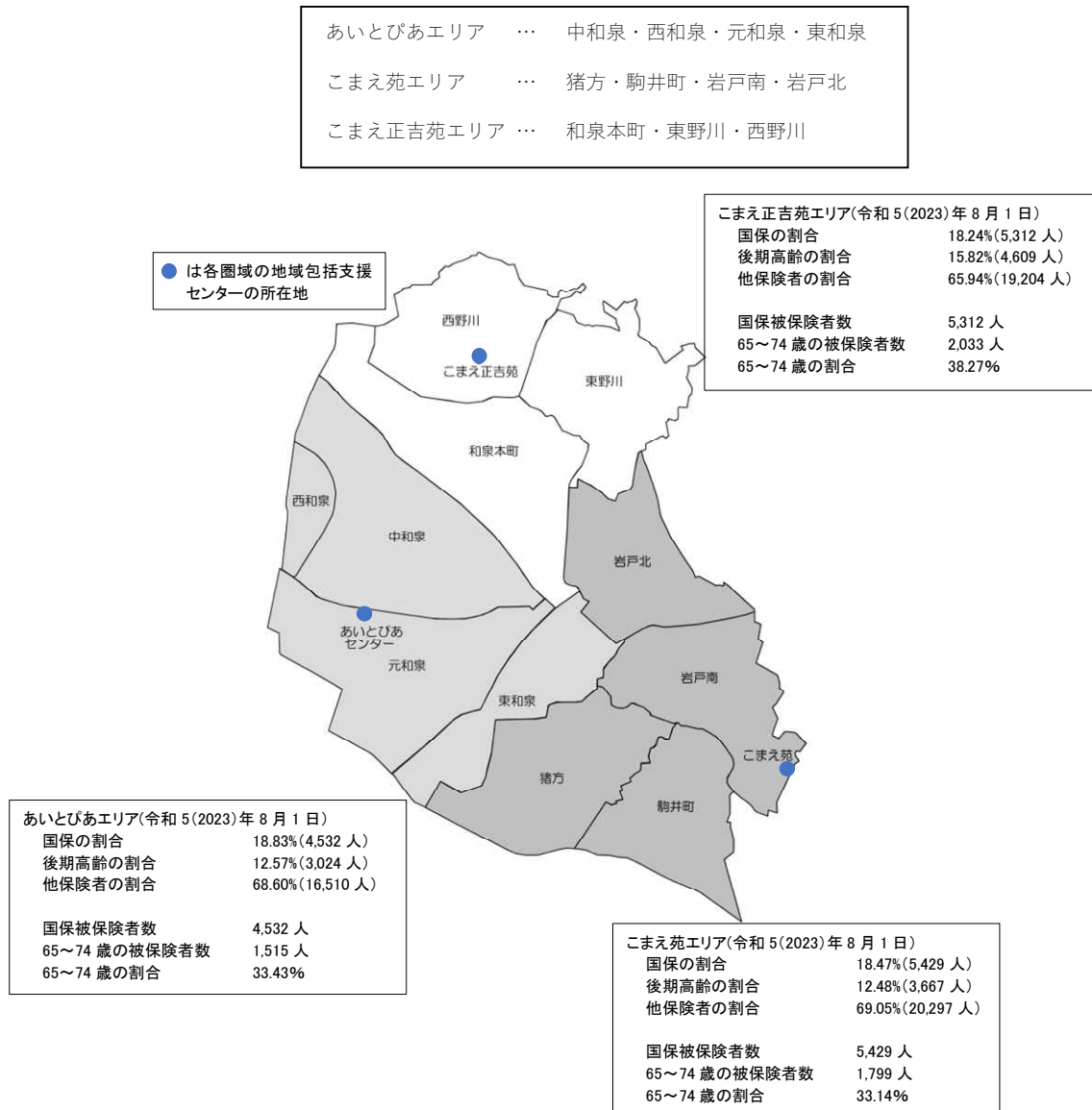
	こまえ正吉苑	あいとぴあ	こまえ苑
圏域人口	29,125人	24,066人	29,393人
高齢者人口	7,943人	5,523人	6,582人
高齢化率	27.27%	22.95%	22.39%
国保被保険者数	5,312人	4,532人	5,429人
65～74歳の被保険者数	2,033人	1,515人	1,799人
65～74歳の割合	38.27%	33.43%	33.14%
国保の割合	18.24% (5,312人)	18.83% (4,532人)	18.47% (5,429人)
後期高齢の割合	15.82% (4,609人)	12.57% (3,024人)	12.48% (3,667人)
他保険者の割合	65.94% (19,204人)	68.60% (16,510人)	69.05% (20,297人)

図表 11: 日常生活圏域別の特性 (市民全体)



※人口はいずれも令和5(2023)年8月1日時点

図表 12: 日常生活圏域別の各保険者の加入率割合及び国保被保険者の特性



※人口はいずれも令和5(2023)年8月1日時点

2.2.5 被保険者の健康を支える関係機関

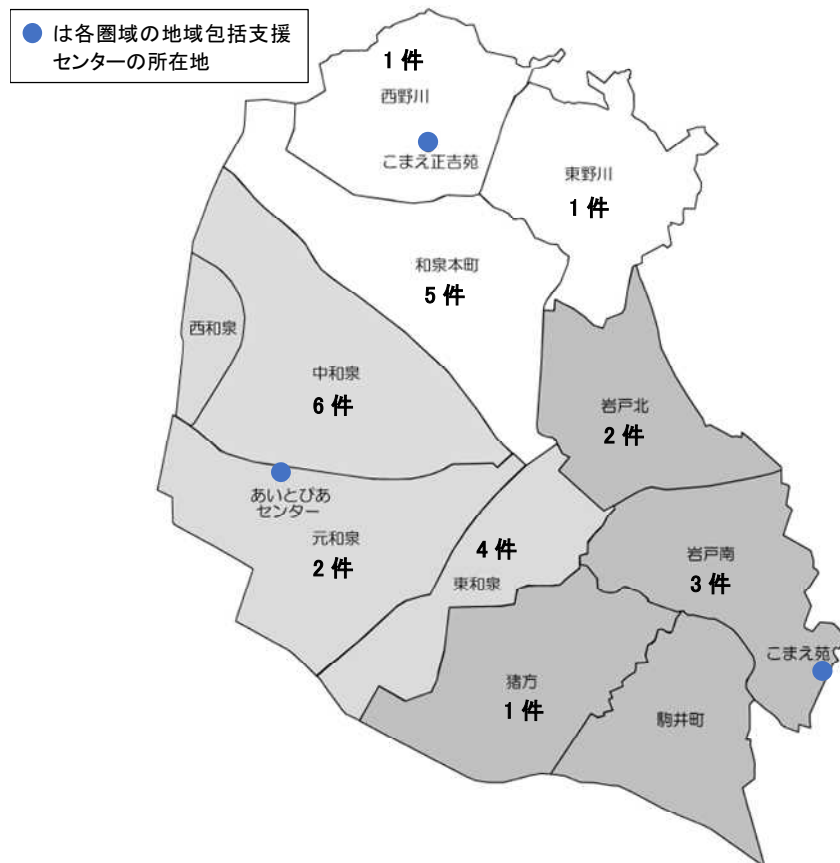
各生活圏域の、特定健康診査を実施している医療機関の数は以下の通りです。

- ・こまえ正吉苑エリア：7 医療機関
- ・あいとびあエリア：12 医療機関
- ・こまえ苑エリア：6 医療機関

また、各生活圏域における地域別の医療機関の数を図表 13 に示します。

図表 13: 日常生活圏域別の特定健康診査実施医療機関

あいとびあエリア	…	中和泉・西和泉・元和泉・東和泉
こまえ苑エリア	…	猪方・駒井町・岩戸南・岩戸北
こまえ正吉苑エリア	…	和泉本町・東野川・西野川



※人口はいずれも令和5(2023)年8月1日時点